

※一部の写真は展示作品と異なります。

HOSPITAL ART IN GALLERY IV

Room 2 2022.11.1 Tue. - 13 Sun.



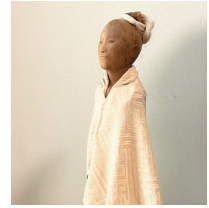
五影 華子「Layered landscape」
油彩 キャンパス 2012年



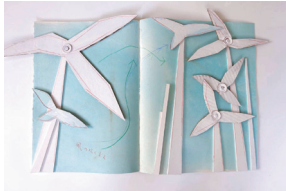
いまぶく ぷみよ「帰る時間 ―Hospital art―」
天然染料 シルクオーガンジー 2019年



葛本 康彰「ながれるもののために」
ミクストメディア 2022年



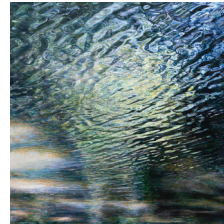
古巻 和芳「大陸の人」
桑材 生糸 絹 2017年



齋津 民子「ノートシリーズ drawing #6」
ミクストメディア 2021年



michi-siruve「汀（みぎわ）の虹」
ミクストメディア 2017年



山本 修司「鳳」
油彩 プリントキャンパス 2019年



川西 純市「記憶のリハビリテーション」
ミクストメディア 2021年

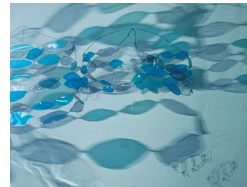
Room 3 2022.11.8 Tue. - 13 Sun.



ヒガシテツペイ (RBTXCO)「草原の手触り」
絨毯 2022年



冬耳 「pageant#16」
アクリル ウッドパネル 2022年



jobin.「私平線」
針金 フィルム テグス等 2020年



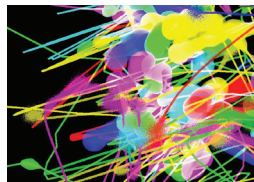
e.shi.to「Happy Hats」
コットン他 2019-2021年



Wools
「タペストリー ONLINE WORK SHOP」
羊毛 毛糸 流木 2022年



北東 紗輝
「ジャングルで暮らす動物」
カリッパにアクリル 2022年



mi-sha「希望の光彩（ひかり）」
視線入力アプリEyeMoTによる
デジタル画 2022年



いしい まゆみ「夕天」
アクリル キャンパス 2021年



古屋 ともよ「LUNCH TIME」
医療用ギプス ペン 2021年

会場トークセッション 詳細は hito-iro.com/hospital-art-in-gallery

11/12 (土) 15:00~16:30 無料・定員20名 予約優先

①「医療者がアートに求めるものと可能性」

岡崎 伸 大阪市立総合医療センター 小児神経内科 小児言語科部長/スペシャルキッズひろば代表
川西 真寿実 ホスピタルアートディレクター/HITO-IRO プロジェクト代表

11/13 (日) 13:00~14:30 無料・定員20名 予約優先

②「ホスピタルアートを考えるその前に」

藤田 理代 希少がん経験者/ZINE作家 (michi-siruve)
儀賀 理暁 埼玉医科大学総合医療センター 緩和医療科・呼吸器外科 教授

共通申込みフォーマット

<https://forms.gle/75dFXssSp448njoa7>

しめくり各イベントの2日前までに、フォーマットがメールよりご予約下さい



ホスピタルアート in ギャラリーとは

医療へのアートの可能性をテーマにした、4度目となる企画展。様々なアーティストと共につくる、病室のインスタレーション。展示と同時に、実際の病院への展開にもつなげています。また、医療とアートに関わる人々との交流をはかります。



2021年ギャラリー展示風景 (enoco)

活動実績 2021年 日本生命病院、あさしお診療所 他

HITO-IRO PROJECT (ひとついろプロジェクト)

「ひと」が主役の「いろ」や「アート」で、病院にあなたかきや笑顔を届けたい。2017年より、独自の色彩ワークショップやホスピタルアートの制作、コロナ禍のキット送付、企画展の開催等、医療・福祉×アート×ケアにまつわる活動を継続中。

E-MAIL: hitoiro11016@gmail.com TEL: 090-6674-4454 (事務局)



<https://www.hito-iro.com>